

□ 要請番号 (JL74525B14)

募集終了

3

すべての人に
健康と福祉を

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
キルギス	H113 作業療法士		個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

国立リハビリテーションセンター

3) 任地 (チュイ州アラメディン県タシュドボ村) JICA事務所の所在地 (ビシュケク市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1984年に設立された首都ビシュケク市南の郊外に位置するリハビリテーション(以下リハ)専門病院である。全国からリハを受けようと患者が訪れ、またキルギスにおけるリハの普及拠点にもなっている。医師、看護師他事務員含め職員数は約160人。病床数は600床(大人560、子ども40)、260床が有料病床。患者は、通常2週間程度の入院期間にリハを受けるが、有料病床ではその期間を希望に応じて延長できる。2024年の患者数は約1万5千4百人。年間予算は約90万ドル。現在、2027年4月までの任期で理学療法士隊員が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

キルギスでは、未だ旧ソ連時代のリハ(物理療法が主流、症状に関わらず一律半年に1回10日程度の入院)が行われており、患者の症状に応じた治療の提供には改善の余地がある。医師の処方を受け、現場で主力として患者に施術するのはマッサージ師及び運動療法インストラクターであり、彼らのリハ関連知識は日本のPT・OTより少なく世界的な流れからも遅れている。日本のリハに関して知見共有を受けたいと派遣要請があげられた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 患者に対して作業療法を行う。
- 退院後に自宅でできるリハや環境調整について、患者及びその家族にアドバイスする。
- 日本の作業療法について同僚医師、看護師、セラピストに対して勉強会を開催し知識と技術を共有する。
- その他、病院のリハ体制の改善策を提案し実践してみる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、イス等一般的な事務機器。歩行練習器具ほか作業療法に必要なもの(添付写真参照)。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚(リハ科):

- ・28名:医師2名、セラピスト(マッサージ、運動インストラクター)26名、20代~60代

活動対象者:同僚及び患者

・患者は3歳～、脳卒中、脳性麻痺、他多様な症状の患者が来院

5) 活動使用言語

キルギス語

6) 生活使用言語

ロシア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(作業療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験)3年以上 備考：活動に必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(高地地中海性気候) 気温：(-20～40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(安定)

【特記事項】

- ・住居はビシュケク市内でアパートを借りてのバス通勤を想定。
- ・赴任後の現地語学訓練で、活動言語のキルギス語に加え、ロシア語の基礎会話を学びます。

【類似職種】